

青山学院スクールモットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章13~16節)



青山学院中等部

# AOYAMA GAKUIN

JUNIOR HIGH SCHOOL

2024

青山学院中等部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL 03-3407-7463

<https://www.jh.aoyama.ed.jp>



# AOYAMA GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

## 中等部進学を考えている皆さんへ

中学生として過ごす3年間は、皆さん的人生にとってかけがえのない大切な期間です。これから的人生の進むべき方向を探し求め、その基礎を育む時期、あるいは、様々な事がらに出会い、夢中になって挑戦することで、自分に与えられた賜物(能力、才能)を伸ばす時期もあります。

皆さんはどのような人々と出会い、どのような環境のもとでこの3年間を過ごしたいと思いますか?聖書に「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によつて研磨される。(箴言27・10)」という言葉があります。皆さんはこれから出会う多くの人々によつて磨かれ、成長していくのです。青山学院中等部は、多くの人々を引き付け、新しいものを生み出すエネルギーに満ちた最先端の街、渋谷に位置しています。またキャンパスには幼稚園生から大学生、世界中からの留学生や各分野の第一線の研究者たちなど、年齢・性別・国籍を超えた様々な才能ある人々が集い、過ごしています。

青山学院中等部には皆さんと、これから出会う皆さんの方人たちが互いに磨き合い、自由な雰囲気の中で、クリエイティブ(創造的)な人間へと成長していく環境が整っています。そんな青山学院中等部で学んでみませんか。

皆さんと共に学べる日が来ることを心より願っています。

青山学院中等部 部長  
上野 亮



## 青山学院教育方針

The Educational Policy of Aoyama Gakuin

キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き 真理を謙虚に追究し

愛と奉仕の精神をもつて

すべての人と社会に対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

# 青山学院の一貫教育

Aoyama Gakuin's Integrated Education

一貫校の流れについて、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/consistency.html>



## 青山スピリッツの継承

中等部から大学まで、一貫した教育体制の中で安心して充実した教育が受けられます。

青山学院の中等部の生徒は、約95%以上が高等部に進学しています。高等部では、青山学院大学以外の他大学の学部などに進学する場合を除き、約85%が青山学院大学に内部進学しています。そのため、受験勉強や競争にとらわれない、ユニークで幅広い学びができます。



## 明治初期から続く青山学院の軌跡

青山学院の源流は、明治初期にアメリカから来日した3人の宣教師が開講した「女子小学校」「耕教学舎」「美曾神学校」の3校からなり、今年で創立149年を迎えます。1947年(昭和22年)、第二次世界大戦後の教育改革の中で、中等部は新しい男女共学の中学校として開設され、開校以来キリスト教に基づく一貫教育を行っています。



## 中等部の沿革

1947年に開設され、2022年に創立75周年を迎えました。

**1947**

**草創期** 1947-1965  
【昭和22年～昭和40年】

1947年の創立後、木造2階建校舎で始まった中等部。  
その後体育館・図書館・工作室・新校舎も建設。

1947年 第1期生の入学式を挙行  
1951年 「学友会」を発足  
1965年 新校舎が完成



**1966**

**飛翔期** 1966-1976  
【昭和41年～昭和51年】

大きな特色である3年生の選択授業がスタート。  
現在に至る青山学院講堂も完成。

1969年 青山学院講堂が完成  
1971年 3年生の選択授業を開始  
1975年 「飛翔の鐘」を建設



**1977**

**変革・発展期** 1977-1996  
【昭和52年～平成8年】

この時期、中等部・高等部を一本化して、  
現在の青山学院一本化の基礎を築きました。

1977年 グラウンド改修  
アーバンコート完成  
1986年 中等部・高等部を一本化  
1996年 水泳授業を開始



**1997**

**新世紀** 1997-2023  
【平成9年～令和5年】

グローバル時代を反映して海外訪問プログラムを開始。  
新校舎も設立して現在に至ります。

2001年 フィリピン訪問プログラムを開始  
2003年 韓国・学校訪問プログラムを開始  
2005年 3年生沖縄旅行を開始  
2009年 講堂の鐘を設置  
2017年 現在の新校舎が完成  
2019年 礼拝堂が完成



**2024**

さらに未来へ！

# キリスト教教育

Christian Education

真実を求める心を培い、  
自分と隣人を愛する  
人格教育を大切にします。

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられた青山学院の教育の根幹をなすものです。  
キリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、隣人を愛し社会に貢献する人間に成長してくれることを願っています。

## Message for Parents

本校ではキリスト教の信仰を押しつけることはありません。謙虚に先人の叡智を学ぶ心や、友人を大切にする心を養い、長い人生を歩んでいく上で、心の支えや道標となる言葉や思想に出会ってほしいと思います。

キリスト教教育について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/education/religion.html>



## 週に1回の 「聖書」の授業

毎週1時間、聖書を手に取り、自分自身や隣人について、また神と私たちの生きた関係について学びます。キリスト教に関する学習にとどまらず、人としての生き方を仲間とともに考えます。

## キリスト教に触れる 特別な行事

イースターやクリスマス、特別礼拝、点火祭や宗教講演会など、キリスト教に深く触れる行事があるのも青山学院の魅力。また、隣人愛を育むために、掃除活動や老人ホームの訪問など様々な奉仕活動も行っています。

# 中等部の教育の特色

Characteristics of Junior High School Education

ゆとりある環境の中で  
一人ひとりの  
個性と自主性を育みます。

本校では、基礎学力の習得はもちろんのこと、  
一人ひとりの生徒の可能性を引き出し、  
その個性と自主性を伸ばす教育が特色です。  
学校全体を「問い合わせ続ける学びの場」として、  
充実した設備に囲まれながら、みずからの  
学びを積極的に追求していけます。

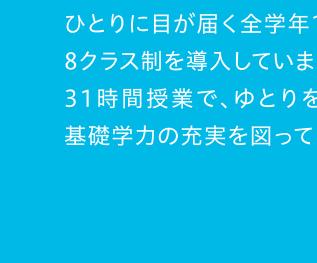
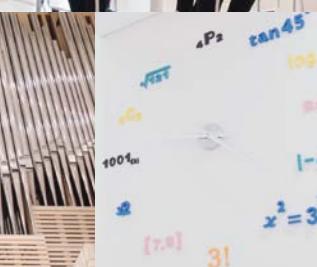
## Message For Parents

めまぐるしく変わるこの現代社会に適応できるように、  
最先端のICT設備などを完備してお子さまをサポート  
します。多彩なツールを用いて知的好奇心を刺激し、  
能動的な学びを引き出すことが大切だと考えています。



## 知性と人格を磨く 充実した教育カリキュラム

将来に必要な学力をつなげながら、それぞれの個性や才能を磨くために、充実したカリキュラムを取り入れてしっかりとサポートしています。さらにキリスト教信仰に基づいて、たがいに協力し合う人格も育てます。



## 少人数でゆとりある 学びの環境を完備

きめ細かい指導を行うために、一人ひとりに目が届く全学年1クラス32名8クラス制を導入しています。週5日制・31時間授業で、ゆとりを持ちながら基礎学力の充実を図っています。



## 従来の科目にとらわれない 週2時間の選択授業

3年生が履修する週2時間の選択授業も中等部の教育の大きな特色です。20以上の講座は、韓国語・ソーシャルイノベーション入門・暗号・名画の模写など、従来の科目にとらわれないユニークなものも多く、生徒は自分が関心あるものをさらに深めていくことができます。



教育の特色について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/education/index.html>

# 教科センター方式

Subject Center Method

「待つ」から「向かう」へ。  
知的好奇心を刺激する  
次世代型の学習へ。

2017年に完成した新校舎では、  
各教科が専用のゾーンを持ち、専用の教室、  
メディアスペース、先生の教科準備室を  
隣接させた新しい学びの方式を採用。  
HRで先生を「待つ」授業から、  
専用教室へ「向かう」授業へと転換し、  
積極的・自主的に学ぶ姿勢を身に着けます。

## Message For Parents

「教科センター方式」は青山学院中等部ならではの特徴です。従来型の教室に比べて、生徒自身の興味や知的好奇心を刺激する工夫が各所にほどこされ、主体的な学びを促す、より充実した教科教育が可能になります。

## 教科センター方式について、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new\\_building.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new_building.html)



**教科センター方式**について、詳しくはホームページへ  
[https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new\\_building.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new_building.html)

**学年ラウンジ**  
学年で自由に使えるスペース。放課後はスタディルームが開かれます。

**メディアスペース (MS)**  
教科ごと、各フロアにあるオープンスペース。プレゼンテーションや協働学習の場としても活用されているほか、休み時間の生徒の居場所など、使い方も様々です。

**展示物の充実**  
専用教室やメディアスペースでは、教材・教具・生徒の作品やレポートなどを常時展示。学習の興味を深めたり、他の人の考えを知る機会に。

**ホーム・ベース (HB)**  
個人用ロッカー等があるクラスの生活拠点となります。

**専用教室**  
授業で使用する教科専用教室で、すべての教室には電子黒板を配備。ホームルーム教室とも兼用します。

# 教科学習

Subjects

幅広い視野を持った人間として、  
基礎学力の充実を図ります。

単に知識をつめこむのではなく、教科を学ぶことで  
自分に与えられた賜物(能力・才能)を伸ばし、  
この世界で貢献できる人間となることを目指します。  
学習意欲を高め、主体的な学びを促すために、  
生徒中心の教科センター方式(P.9)を導入し、  
より興味を深めた学習ができるよう配慮しています。



## 聖書

Bible class

神と出会い、神に生かされている自分に気づく

毎日(2時間目と3時間目の間の15分)、  
全校生徒がHRで礼拝を行ないます。  
週1時間の聖書の授業ではキリスト教に  
関する学習にとどまらず、人としての生き  
方なども学びます。



## 国語

Japanese

ことばと心を豊かに

聞く・話す・読む・書くことを有機的に機能  
させ、豊かなことばと心で深く考える力を  
養い、相互理解を深めます。



## 英語

English

国際化時代のために

国際的なコミュニケーションの道具として  
英語を学び、国や文化の違いを越えて、  
社会に貢献できる人を育てます。



## 音楽

## 数学

Mathematics

思考力を養い、深める

基本的な概念や原理・法則の理解を  
深め、事象を数学的・論理的に考察し、  
自ら問題解決する能力を育てます。



## 技術家庭

Technology / Home Economics

衣食住の生活力を学ぶ

プログラミングなどの情報分野に力を入れ  
ながら、ものづくりの大切さや、生活に  
対する実践的な態度を培います。



## 社会

Social studies

多面的視野で世界を見る

一人の市民として多面的・多角的な視野  
を持って考え、社会の課題を発見し、主体  
的に解決するための力を養います。



## 美術

Art

自己表現できる力を

素材との触れ合いを通して人生を問い、  
自己表現し、自分を発見して確立します。



## 保健体育

Health / Physical education

健康で安全な人生を

運動技術、技能を身につけて体力向上を  
図り、生涯健康に生きる基礎を培います。



教科学習について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/education/subjects/index.html>



# 選択授業

Elective Lessons

## 才能と可能性を伸ばす ユニークな発展的学習。

3年生が履修する週2時間の選択授業は、  
従来の科目にとらわれないユニークなものがたくさん。  
個人の特性に応じた学習を通じて、関心のある分野を  
追求する資質を伸ばします。

※毎年25講座前後を開講。

### 国語

#### 俳句

Haiku

#### 5・7・5で表現する 自然を愛する心

季節感ある言葉(季語)を学び、句会をします。  
外に出て俳句を作る「吟行」では、日帰り  
小旅行や一泊吟行会に行くことも。  
(過去に狭山新茶摘吟行、御嶽・奥多摩一泊  
吟行、鎌倉・江ノ島吟行を実施)



### 理科

#### 理科実験

Science experiments

#### 高度なテクニックを 要する実験に挑戦

それぞれがテーマを決めて実験・観察を行い  
発表。たとえば化学では水溶液の分析、香料  
の合成、生物では解剖を通じて進化の過程を  
学び、物理では水口ケット・火薬口ケットなど  
を作成し、力学を学習します。



### 社会

#### ソーシャルイノベーション入門

Introduction to Social Innovation

#### 現代社会の課題について 主体的に学ぶ機会を

各自関心のある現代社会のトピックを調べ、  
多様な意見・立場を理解し、新しい視点や  
方法で協働する力を養います。株式学習、模擬  
国連、校外学習や外部の専門家による特別  
授業の機会なども設けています。



### 数学

#### 暗号入門

Introduction to cryptography

#### 暗号の歴史をたどり 数学的思考を身に着ける

紀元前から続く暗号の歴史から現代の公開  
鍵暗号まで学び、数の理論がどのように関係  
しあっているのか学びます。暗号の作成や  
解読も行いますがメインは数学です。有名な  
フェルマーの最終定理なども紹介。



### 美術

#### テンペラと油彩

Tempera and oil painting

#### 中世西洋の名画を彩る 奥深い美の世界

卵の黄身を使って描く「エッグ・テンペラ」を  
ベースに、その上に油彩を重ねる技法を習得。  
中世の雰囲気を味わいながら、1枚の名画の  
模写を1年かけてじっくり取り組み、その額縁  
とともに仕上げます。



### 韓国語

#### 韓国のことばと文化

Korean language and culture

#### アンニョンハセヨ！ 参加型の異文化体験

韓国語の簡単な読み書き・文法を学び、韓国  
語で自分の意志を簡単に表現できることを  
目指します。ドラマやK-POP・韓国料理  
実習や伝統衣装着・交流会などを通して  
楽しく異文化体験ができます。



### 中国語

#### 中国語紹介

Chinese language introduction

#### 言葉・文化・習慣を学び 国際人としての一歩を

聞く・話すを中心に発音を基礎から学び、同時に中華街散策や調理実習などを通して文化・  
習慣も総合的に学習。さらに企業との連携で  
認知言語学を応用したe-ラーニングを導入。  
全国中高で初の試みです。

選択授業について、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/subject\\_list/選択授業/](https://www.jh.aoyama.ed.jp/subject_list/選択授業/)





## テクノロジーで教育を活性化する、 先進的な取り組み。

「ICT教育の先駆け的存在」である青山学院中等部では、先進の機器を駆使した恵まれた学びの環境を提供し、新時代を生き抜く探究心を育みます。

## 全校生徒 タブレット完備

高度な情報社会の現代、スマート世代の生徒たちには教科書やノートと同じようにハイスペックな情報機器を使いこなせる学習環境が必要だと考え、2020年から1年生全員にタブレットパソコンを配布しています。



## 時代に合わせて 新しい学びを

ICTを活用した授業では、動画や音声も使いながら、時にはゲーム感覚で能動的で多角的な学びを実現。一人ひとりの学習速度や興味に応じた対応も可能になり、テクノロジーに裏付けされた最新の学びを提供します。



## “空間の特別感” ICT教室

メディアセンターの2階には、各専用教室に設置されているICT機器とは別に、空間そのものに特別感のあるICT教室を設置。様々なツールを用いて自由に学び、表現できます。



## オンライン授業

新しい時代に対応した<オンライン授業>。  
多様な最先端の学びを臨機応変に提供。

2020年以降の休校期間中は、様々な配信授業を実施して、学力を低下させることなく学習を継続しました。  
最先端のオンライン授業ならではの特色を活かし、今後も臨機応変に対応していきます。



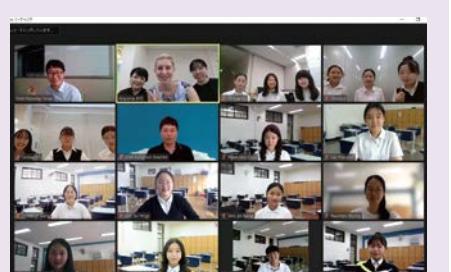
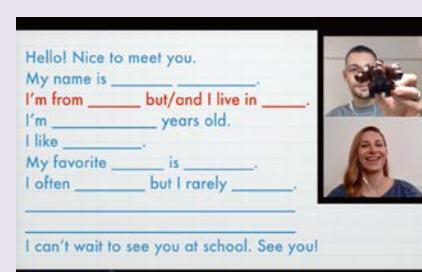
## pick up 中国語の授業

座学と並行し、企業と連携して中高初の中国語e-ラーニングを導入。通常の1/2～1/3の短時間で中国語検定に合格！



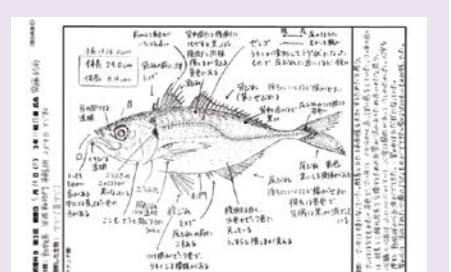
## pick up 英語の授業

ネイティブの先生がオンラインで配信した会話の動画を見て、生徒も動画を作成して課題を提出します。



## pick up アジの観察

自宅でもできるように、解剖や観察方法を動画で紹介。スケッチや観察したものは画像で提出します。



# クラブ・同好会

Extra-curricular activities



心から打ち込むことに出会う喜び。

夢と可能性が広がり、人生がより豊かに。

中等部では、仲間とともに自分の“好き”を追求できる  
豊富な課外活動が充実しています。  
中学の時に出会ったスポーツや趣味は一生の宝物です。

## 〈体育会系クラブ〉

剣道部／サッカー部  
女子テニス部  
女子バスケットボール部  
バレー部／水泳部  
卓球部／男子テニス部  
男子バスケットボール部  
チアダンス部  
バドミントン部／ハンドボール部  
野球部／ラグビー部／陸上部

## 〈同好会〉

柔道同好会／スキー同好会  
ラクロス同好会

## 〈文化系クラブ〉

アートクラブ／演劇部  
家庭部／茶道部  
箏曲部／創作漫画部  
吹奏楽部／ハンドベル部  
放送部／マイコン部／科学部

## 〈同好会〉

囲碁将棋同好会  
オルガン同好会／音楽同好会  
国際交流同好会  
文芸同好会／緑信会  
地理歴史研究同好会



クラブ・同好会について、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/school\\_life/club/index.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html)





国や文化の違いを越えて、多様性を共有する。

国際人を育む多彩なプログラムが充実。

世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いに認めあい、共に生きるために。

実践的な国際交流の体験を通してグローバル感覚を身に着け、日本への理解も深めます。



### 異文化に触れ、国際感覚を養う

色々な国の人々と交流することは、それぞれの国の文化や歴史、考え方や生活習慣などをより深く知る上で大切なこと。

中等部では、オーストラリア、フィリピン、韓国の中学校との交流プログラム、東京韓国学校との交流会などを行っています。



### オーストラリア・ホームステイ

毎年、夏休みに14日間、ブリスベン郊外で行います。ホームステイ先の子供が通う中学校 Immanuel Lutheran College(ILC校)と一緒に登校して、午前中は主に英語のレッスン、午後は授業へ参加します。その他にもアボリジニ・アートの体験など数々の体験学習を行います。



### フィリピン訪問プログラム

隔年、春休みに実施します。フィリピン訪問はチャイルド・ファンド・ジャパンを通して中等部が支援しているチャイルドを訪問するプログラムです。いくつかの学校も訪問します。フィリピンの生徒との交流を通して、相互に理解を深めるという目的で行われます。



### 韓国・学校訪問プログラム

韓国訪問では梨花女子大学附属中学校と交流を図ります。ソウル近郊の史跡を見学し、相互理解を深めます。異国に触れ、学ぶことが出来る貴重な体験プログラムです。また新宿にある東京韓国学校とも毎年交流会をひらき、隔年でお互いの学校を訪問しています。



### 海外校とのオンライン交流

2022年、海外への渡航制限が長期化することを受けて、中等部では2・3年生を対象としたオンラインによる海外校との交流プログラムを実施しています。日頃の英語学習を実践の場で使い、自分の思いを伝える貴重な機会です。実際に現地へ赴くことができない状況下にあっても、異なる文化・言語・価値観をもつ同世代の生徒や先生方との交流はかけがえのない体験となるでしょう。



### 学校の中で異国体験

国際交流の一環として、海外の大学協定校からの交換留学生たちと異文化交流を行っています。自由な雰囲気の中でランチをとりながら様々な話題で盛り上がることも。



機能性・安全性・独創性に富んだ環境の中で

豊かで楽しいスクールライフが送れます。

毎日の学校生活は、勉強はもちろん、様々な活動や交流を通じて、自分を知り、

仲間を大切にする心を育みます。学校のあらゆる場所が、創造的な活動の場となります。



### 自由度の高い制服

- 【男子】 上下とも濃紺の背広型ブレザー、白のワイシャツに紺のネクタイ。
- 【女子】 グレーの襟なしブレザーと白のブラウス、スカートはチェック柄であれば自由です。夏場はブレザーやネクタイは着用しなくてもOK。
- 【オプション】 夏場のブレザー、冬場のオーバーコートは自由で、紺のセーター・ベストで通学してよい期間があります。



### 生徒による、生徒のための

学友会は学校行事の企画・運営や、学校を良くするためにどうしたらしいか考え活動している生徒会のような組織。皆で団結して様々なプロジェクトに挑み、生徒の自治・自主精神を養います。



### 新発想の知の拠点

いわゆる図書館ですが、単に本を読む・借りる設備ではなく、各教科のメディアスペースと連携しながら、学校全体で学びを深める一翼としての機能を担っています。



### 安心して過ごすために

心身ともに健康で良い学校生活が送れるように、専門のカウンセラーによる相談を毎日行っています。自分自身のこと、友だち関係のこと、どんなことでも大丈夫。



### 年代を越えた交流を

放課後に大学生がスタディルームに常駐して勉強をサポートします。青山学院の一貫教育により、年代を越えた交流ができる環境は社会の縮図そのもの。



# スクールカレンダー2023

School Calendar 2023



かけがえのない大切な思い出を仲間とともに。

学校行事に主体的に参加して自主性を高めます。

学習の一環として学校行事に参加し、それぞれが責任を持って目的に沿うよう努力して行動します。

キリスト教関連や国際交流の独自な行事も充実。

スクールカレンダーについて、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/school\\_life/calendar/index.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/school_life/calendar/index.html)



## 1日の流れ Daily Schedule

SHR  
AM8:15  
▼  
AM8:20

1時限  
AM8:25  
▼  
AM9:10

2時限  
AM9:20  
▼  
AM10:05

礼拝  
AM10:15  
▼  
AM10:30

3時限  
AM10:40  
▼  
AM11:25

4時限  
AM11:35  
▼  
PM12:20

教育目標の第一に「礼拝と聖書の学びを通して、神をおそれ人を大切にする心を育てる」と謳い、「毎日の礼拝」の時間です。

月・火・水・金曜日	5時限 PM1:15▶PM2:00	6時限 PM2:10▶PM2:55	SHR PM3:00▶PM3:10
木曜日	5時限 PM1:05▶PM1:50	6時限 PM2:00▶PM2:45	7時限+LHR PM2:55▶PM3:40

最終下校時刻	4月～9月 5時30分	11月16日～1月 4時30分
10月～11月15日 5時00分	2月～3月 5時00分	

※考査1週間前から30分繰り上がります。

4月



入学式  
1年オリエンテーション  
イースター礼拝

5月



母の日・家族への感謝の日礼拝  
中間テスト  
1年 HRday  
情報モラル講演会  
2年 裏磐梯キャンプ  
3年 沖縄旅行

6月



3年歌舞伎教室  
授業参観

7月



期末テスト  
緑蔭キャンプ  
クラブ合宿  
(2022年度はコロナ感染防止の為、中止)

8月



オーストラリア・ホームステイ・  
プログラム  
(2022年度はコロナ感染防止の為、中止)

9月



奉仕活動

10月



運動会  
中間テスト

11月



中等部祭  
クリスマス・点火祭

12月



期末テスト  
クリスマス礼拝

1月



国際交流講演会(偶数年度)  
宗教講演会(奇数年度)  
伝道週間  
音楽鑑賞会

2月



3年卒業生講演会

3月



学年末テスト  
学友会送別会  
卒業式  
スキー学校  
フィリピン訪問(奇数年度)  
韓国訪問(偶数年度)  
北京訪問(2023年度~)



高橋 彩さん

裁判官

1988年 青山学院中等部 卒業  
1991年 青山学院高等部 卒業  
1995年 東京大学法学院卒業  
1997年 東京地方裁判所判事補  
宇都宮地方裁判所足利支部支長判事、  
知的財産高等裁判所判事等を経て  
2021年 仙台地方裁判所総括判事

## 自分が戻る居場所がある 中等部の友人は一生の財産

青山学院中等部で良かったと思うのは、何といっても友人との交流です。スポーツに打ち込む人、音楽や美術が好きな人、語学が堪能な人などそれぞれ個性豊かで、自分と違う得意分野をもっている人を尊重する気持ちがあり、お互い刺激し合える関係が自然に築けるような環境でした。

中高一貫校であることもあって、学業の成績で順位付けされることではなく、また、先生方は、生徒の自主性を尊重し、包容力をもって私たち生徒の成長を支え、伸び伸びとした学校生活を送れるよう見守ってくださいました。青山学院の教育の基礎には「学力や才能は自分のためではなく人のために活かそう」とか、「献金やボランティア活動を通じて困っている人を助けよう」という考え方があったので、生徒達の間には、他人を思いやり、互いの個性や特技を尊重する雰囲気が自然に生まれていたと思います。

現在は裁判官の仕事に就いています。この仕事に就いたのも、自分が何らかのかたちで人の役に立てるならば、という思いがありました。担当する事件は一つひとつ違い、関連する専門分野も多岐に渡りますので、常に勉強を続けることが必要ですし、責任の重い仕事ですが、やりがいもあります。時には海外出張をして国際会議に出席したり、海外の専門家をお迎えしたりすることもありますが、そのような場面で中等部時代から身に着けていた英語力が役立っています。特許権などに関する紛争を扱う知的財産高等裁判所では英語を使う機会があるので、英語力を身に着けると仕事の幅が広がります。

卒業して何年もたち、中等部の仲間達はそれぞれ色々な場所で活躍していますが、中等部で築いた人間関係は今でもずっと続く私の貴重な財産です。何年たっても自分が戻る居場所がある——そんな素晴らしい仲間と皆さんもぜひ出会って、先生方や仲間からたくさんの刺激を受けて、やりたいことを見つけてください。

## 「どうしても成功させたい」 全校生徒が一つになった中等部祭

青山学院高等部2年  
Aさん



## コロナ禍でも諦めなかった 修学旅行の最高の思い出

青山学院高等部2年  
Sさん



私たちの学年はコロナ禍で1年の3月から2年の夏ぐらいまでオンライン授業になってしまい、中等部祭もリモートで行われました。3年生でようやく開催されることになった時は副実行委員長に立候補し、放課後ぎりぎりまで12人の仲間と準備をしました。特に最終日の午後の部では、青山講堂に全員で集まって皆で一つになってファイナーレを飾りたいと思っていました。実際には制約もあり礼拝堂と映像でつないだり工夫しながらでしたが、結果的に皆に「やってよかった！ 楽しかった！」と言ってもらえた時は、本当にやってよかったと思いました。

他にもチアダンス部と「緑信会」という同好会に所属していました。緑信会は校内や施設でボランティア活動を行ったり、国内外の被災地へ募金活動などをしたり、今までできなかった経験ができました。

留学や国際交流活動も中止になっていましたが、代わりにオンライン交流会が実施され、北京の学生たちとお互いの文化について語り合いました。コロナであたりまえだと思っていたことがあたりまえじゃないと実感したことで、より「何事も挑戦してみる」「どんなときも諦めない」ことを学べたと思います。挑戦するためには情報を自ら取りにいくことも大切です。先生方も何でもすぐ相談に乗ってくださいます。どんなにつらくてもベストを尽くす、という中等部の体験は今も役立っています。

他のOB OGについて、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/voice\\_graduates.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/voice_graduates.html)



## 何がしたいかわからなかった 自分を変えてくれた異文化体験

僕は中等部のころ、部活もやっていなかったし、特に打ち込めるものがなかったんです。そんなある日、先生から「声がいい」「音読がうまい」と言われてクリスマス礼拝の朗読を担当することになりました。舞台上で演者が静止している脇で、イエス誕生の物語を選ばれた4人で読み上げるのですが、本番に備えて国語の先生から指導を受け、皆で努力してやりきったのはいい思い出になりました。そんなふうに、中等部では先生が生徒のことをよく見ていてくださいます。先生といえば、礼拝のときに聖句を読んで、それにちなんだお話をされるのも中等部ならではでしょうか。時には外部の方も招きつつ、たくさんの先生方から授業では聞けないエピソードトークが日替わりで聴けるというのは、今思うとかなり貴重というか、実は有意義な時間だったんだなと感じています。

自分が変わったのは、大学の時に長期休みを使って繰り返したバックパッカーワーク。青学の英語教育はとても手厚く、早いうちから異文化に触れる機会も多かったので、外国をぶらぶらするのに抵抗はありませんでした。卒業後、一度は日本で就職したのですが、旅行好きが高じて海外で生活したいと思い、カンボジアの現地出版社に転職し、プノンペン支局をやりました。その頃出会ったのが、裸一貫でゼロから事業を立ち上げるような人たちで、一緒に話をするうちに、そのバイタリティにあてられ、いろいろな生き方があるのだなと思い、3年たって帰国後、フリーランスのライターとして独立。今は構成作家となり、テレビやWEBで、トーク番組やアニメ・ゲーム関連の番組などを担当しています。

もしも中等部時代にやりたいことが見つかなかったとしても、焦らなくていいと思います。何歳からでも何とでもなる。だから自由にのびのびと過ごしてほしいです。青学中等部は、そんな生徒もドーンと受けとめてくれる場所だと思います。



小林 真之輔さん

構成作家(フリーランス)

2004年 青山学院中等部 卒業  
2007年 青山学院高等部 卒業  
2011年 青山学院大学 経済学部経済学科 卒業  
2011年3月 株式会社SuperBrain(現:CURIOUS PRODUCTIONS)入社  
2012年11月 KRORMA MAGAZINE co.,ltd.入社  
2015年5月 フリーランスのライター  
2019年1月 フリーランスの構成作家

■主な案件

- 新シリーズ「ポケットモンスター」ポケモンしじら隊(テレビ東京)構成
- 夜な夜な不思議の館にて御曹司・八木勇征からの招待状(BS朝日)構成
- 連続テレビ小説 公式サイト(NHK)インタビューライティング
- にじさんじ 公式番組(YouTubeなど)構成

## 「青山学院で箱根駅伝を走る」 という姿を夢見て

青山学院大学 社会情報学部2年  
白石 将隆さん



初等部から始めた陸上。中等部に入った時に長距離を選び、練習はきつくて苦しかったけど、皆で声を掛けて励まし合えたので、あそこで仲間がいなかつたら続いているかったと思います。そして、今まさに青山学院大学で箱根駅伝の優勝メンバーになることを目指して頑張っています。やはり自分の中では「青山学院で箱根を走る」というのは他の大学で走るのとは違う価値があります。強豪校の誇りもありますが、自分が青山学院でお世話になってきた人達に感謝をこめて、最後に自分が頑張ってきた姿を見せたいという気持ちで今も練習に励んでいます。

中等部陸上部の合宿では、学校生活よりも友達と関わる時間が増えるので、自分を見つめ直したり友達の意外な面を見たりするいい機会になりました。他にも毎朝開放されているアリーナが2つあって、バスケットボール、バドミントンなど好きなものを選んで自由に使えたり。行事や設備が充実しているおかげで交友関係や活動の場が広がるきっかけになります。

先生方も頑張る姿を見守ってくださり、苦手な教科があったら「大丈夫？」と何度も声をかけて誰一人置いていかないので、僕も苦手だった英語がだんだん得意になり、今ではTOEICのスコアを上げるまでになりました。一回一回の授業や休み時間の遊びなど、すべてがかけがえのない時間です。とにかく全力で中等部生活を楽しんでほしいですね。

## 聖歌隊や礼拝を通して 迷った時に指針となった聖句

日本大学 歯学部2年  
吉田 史歩さん



私は聖歌隊に所属していたので、クリスマス礼拝は印象的な思い出です。聖歌隊はスカウト制で、さらにオーディションを経てソロパートを歌う機会もいただいたので、人前でも堂々と表現できる自信がつきました。放課後や休み時間など限られた時間に集まって練習する中で、人と協力し団結して一つのものを作りあげる楽しさや大切さも学びました。

「人にもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」という聖書の言葉があります。私はこの聖句に影響を受け、歯科医師を志すきっかけになりました。進路以外でも何かに迷った時は「自分だけのためではなくて、周りの人にも還元できる方を選ぼう」というふうに、自分の行動の根源になっていると思います。

2年時に新校舎で「教科センター方式」が始まり、移動が増えたことで人間関係の輪が広がり、先生方とも気軽にお話できる機会が増えました。私がテニス部とバレエを両立できなくて悩んでいた時も先生が親身になってくださり、「今やりたいことはやり切った方がいい」とサポートしてくださったおかげで両立することができました。

中等部は自由度が高く、その分責任も伴いますが、自分の可能性を狭めることなくやりたいことを突きつめられる環境だと思います。各々の個性を發揮できる場だからこそ、できる経験がきっとあるはずです。



## 卒業後の進路



青山学院中等部を卒業する生徒の95%以上は青山学院高等部へ進学しています。高等部のホームルーム数は10クラスで、高等部からの入学生と混合になります。高等部卒業生の約85%以上は、青山学院大学へ進学しています。

## 高大連携

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、「高等部生徒による大学授業の履修」「学問入門講座」など大学との連携を深めています。最先端の研究施設にふれたり、早くから大学の専門分野に特化した学問に接することで、各自の興味・関心を明確にし、学習意欲の向上をはかっています。



## 高等部学問入門講座

総合的な学習の一環として、土曜日に青山学院大学・専門職大学院の教員による学問入門講座が年10回、約30講座開講されます。学問の面白さや奥深さに触れることができ、進路選択にも役立っています。

## 高等部制服



【男子】冬期は濃紺のブレザーとズボン。ワイシャツ等は白または薄い色。ネクタイは色・柄・着用ともに自由。  
夏期は濃紺のズボンに白ワイシャツ・ポロシャツ等。

【女子】冬期は濃紺のブレザー。スカートまたは指定の濃紺ズボン。スカートはひだ付きの繊維製品で色は自由。ブラウスは白または薄い単色。靴下は、白または紺。  
夏期は、ひだ付き濃紺無地のスカートまたはズボンと白ブラウス・ポロシャツ等。

【略装】略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。

## 国際交流



英国・ケンブリッジの名門パブリックスクールであるリーススクール。イタリア・ミラノにある国立レニヤーニ高校の2校と姉妹校提携を結び、数名の生徒による短期交換留学を行っています。また、学院のプログラムでもあるフィリピン訪問プログラムなどを通じて、生徒たちが豊かな国際性と価値観の多様性を身につけることができるよう期待しています。

# 中等部インフォメーション



## 入試結果

2023年度	男子	女子	合計
志願者	410	563	973
受験者	362	481	843
合格者	111	86	197
実質倍率	3.3	5.6	—
補欠者	10	10	20
合格最低点	169	186	—

## 2024年度入学試験日程

### 【募集人員】

定員 男女合わせて約140名

### 【願書受付】

●インターネット出願

2024年1月10日(水)～30日(火)予定

※日程が確定したら、HPにて公表します。

### 【試験日】

2024年2月2日(金)8:45～12:20 解散は12:40を予定

### 【試験科目・時間】

4科目

国語 100点 50分

算数 100点 50分

社会 50点 25分

理科 50点 25分

### 【合格発表】

2月3日(土)10:00 HP

### 【入学手続】

2月3日(土)10:30～15:00(予定)

中等部校舎

※詳細はHPをご覧下さい。

## 教育課程表(授業時間表)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	4	4	3
数学	4	4	4
理科	3	4	4
英語	5	6	6
音楽	2	1	1
美術	2	1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	2	1
聖書	1	1	1
特活	1	1	1
選択	0	0	2
合計	31	31	31

## 学校説明会

### 【日時】《予約制》※受験生同伴可

①第1回 学校説明会 2023年6月17日(土)

②第2回 学校説明会 2023年9月16日(土)

③第3回 学校説明会 2023年10月14日(土)

### オンライン説明会《予約制》

①、②、③を含む期間

●オンデマンド方式で配信予定

※詳細はHPをご覧下さい。

### 【内容】(予定:状況によって変更する可能性があります)

1) 中等部の教育について

2) 学校生活について

3) ハンドベル演奏

4) 入試に関する説明・連絡

5) 校舎見学及び入学相談(希望者)

### 【場所】

未定 ※詳細はHPをご覧下さい。

## 中等部祭(文化祭)

2023年11月11日(土) 10:30～16:00

2023年11月12日(日) 12:30～16:00

(予約不要 上履き不要)

※詳細はHPをご覧下さい。